



鮫川江筋の復活に

迷惑な無根の宣傳

心血を注がれた知事の努力

感謝する地元民を擧げての陳情

石城郡南五ヶ町村に亘る水災断絶の計畫に對し全然無根... 鮫川堰が明年度の縣豫算にても余りある徒勞である...

悪宣傳によつて七萬圓の地元負担を拒むもの

が如く誤り傳へられたが爲めに地元民の迷惑少なからず小名濱町長鈴木榮氏外...

縣議一同が来る五日

午前十時平町の団体事務所にて參集し當日縣下青年聯合...

陳情することになつた

たが五ヶ町村に亘る水田の灌漑難を見るに忍びざる大...

休日 日曜大祭日 一ヶ月二十五日 一部二十五日 二部二十五日 三部二十五日

産營業を泣かしてゐるかを想像するに余りあるが来る十五日頃に市場を開ける...

不景氣を外の

果樹收入

平窪の組合で

總額六萬余圓

石城郡平窪村の果樹組合で二日午前十一時から組合...

中堅農民の

現地講習

一日勿來錦

石城郡の中堅農民講習會に於ける十月の講習は一日...

兩町村見學

於ける十月の講習は一日柴田郡農技手の引率で勿來町...

青訓聯合の合同演習

各部署と部隊の宿舎

第一、永戸、渡戸、合戸

第二、川前、澤渡

第三、大野、第一

第四、四倉、セメント

第五、飯野、中隊

第六、小名濱、植田、高久

第七、鹿島、錦計十一所

第八、内郷中隊、磐崎

第九、山田、勿來第一、同第二

第十、上遠野、入遠野、田人計

第十一、北軍主隊長吉田歩兵大

第十二、第一中隊長吉田歩兵

第十三、少尉(平窪)第二同藤井歩

第十四、少尉(平窪)第二同藤井歩

第十五、少尉(平窪)第二同藤井歩

第十六、少尉(平窪)第二同藤井歩

第十七、少尉(平窪)第二同藤井歩

第十八、少尉(平窪)第二同藤井歩

第十九、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十一、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十二、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十三、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十四、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十五、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十六、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十七、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十八、少尉(平窪)第二同藤井歩

第二十九、少尉(平窪)第二同藤井歩

第三十、少尉(平窪)第二同藤井歩

第三十一、少尉(平窪)第二同藤井歩

第三十二、少尉(平窪)第二同藤井歩

第三十三、少尉(平窪)第二同藤井歩

部隊宿舎割内郷御腕部と云ふ好季節になりました... 俳句 秋の心は...

出生と死亡 出生 平町彌宣町六八... 死亡 富田誠長女愛子九月二十...

満壽莊主人 秋來ぬと眼にはさやかに... 健康であるかどうかを尋ねる...

農畜保險 農畜とは一体... 畜保とは一体... 農畜保險の重要性...

改革概論 (1.3)

参考資料

大内 民 恵

私は之を聞いて今更の如く懐舊の情に堪へず、且つは春風秋雨二十年其一家の人々が、既に忘れて居つた此の私に對して、かくまで感謝の誠意をいたして居つてくれたかと思つた時は、はより落つる涙はとどめ難く、しばし顔を擧ぐる事が出来なかつたのでありませぬ、然し其尊き金一封はやがて國本神社完成の時に同君を記念すべく、何ぞ一物を其境内にのこす事にしたいと思つて其まゝ、匣底に保存して置きます、此挿話について見るも絶對的繼續主義、責任分擔主義の如何に教育上効果あるかを主張せざるを得ないのであります私の如き教育家としては完全な資格もなく修養もなく且つ僅かに短期間の仕事にしてしかも以上の成績を挙げ得たといふことは教子諸君の素質なり努力なりに基因することは勿論でありませぬが我大内案が幾分の貢献をなしたることは之を斷言して憚らないのであります、因、渡邊要、遠藤潔、鈴木卯平治、渡邊武治、鈴木彌藏、渡邊倉治の諸君にして境遇が許し學費の余剰さへあつたならば桑野、高根、兩博士同様、博士級の人物たる得る素質を十分に持つて居つたのであります

此意味に於ても教育分區主義により其郷里にありては今日中等程度までの教育を施すこと、國家が育英資金の制を設けて無産者の子弟を教育し十分に其能力を發揮させ人心をして倦まざらしめぬ方針をとることの急務なることを深く考へられるのであります(終)

スペイン G.H.N 元 詰
甘 味 葡 萄 酒
ゴ ル フ ポ ー ト ワ イ ン
¥ 1.10

御 婦 人 の 方 に は 少 し 水 を 加 へ て
召 し 上 る ま 風 味 そ う 佳 良 ぞ ぞ

(電話) 西村屋薬舗 (三番)

ガソリン
モビール油
株式会社 石油
株式會社
特約販賣

油問屋 店內關
支店 郡山市
支店 郡前大通
支店 茨城縣
支店 關本駅前
支店 關本駅前

出張所 中町四丁目
郵便局前

表穴城盤
酒 銘

美味 經濟 味美
油 醬 味のマヤ

社會名合崎山
番十話電

平田町
電話三五三

サロンの
平田町

いよいよ平田町が
キーンと盛況で賑やか
フラスコ料理の献立

中島寫眞館
平町字田町

よろこびございますか
うちりますますよ

よろこびございますか
うちりますますよ

せまり上召
安くて
うまくて
品がよい

カフェー
タイラ食堂

安價に
迅速に
丁寧
親切に

福島縣石城郡平町
遠藤活版所
電話七四三番

恐怖時代の
動脈硬化症新藥
預防及治療

アイヨール錠

試用二圓
中瓶六圓
大瓶廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる

特約店
山野邊藥局
平町五丁目

ンゲイア

幾多の治療劑超中然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ

肺病、肋膜炎、肺炎カタル等々

定價二圓、四圓、六圓

平町五丁目角
特約店 山野邊藥局

一家團樂は
新時代の娛樂麻雀から

マーデヤン臺の
品質……優良
價格……低廉

平三丁目
本丸ほん家具店
電話三五九

偉大なる化學の力
ハゲナイ漆器
コワレヌ陶器

容易に破損いたしません
熱湯にも酸類にも耐えられせん
絶対に變形、變色せず

高尚で優美で一度買ひば
眞に萬代まで使はれます

釜屋器物部
平町電話九番・九番

